

若き道真公を描く 人気歴史コミック『応天の門』、 太宰府天満宮に登場

学問・文化芸術・至誠の神として親しまれる菅原道真公（天神さま）の御墓所の上に創建された太宰府天満宮は、千百年以上の悠久の時の中で、天神信仰の聖地として、また全国一萬二千社の天満宮の総本宮として大切に守り伝えられ、内外から篤い崇敬を集めています。

この度、太宰府天満宮宝物殿企画展示室では、平成三十年十二月八日（土）から平成三十一年四月十四日（日）まで、菅原道真公を主人公として描くコミック『応天の門』展を開催します。

本作は、若き天才と謳われた菅原道真公と京随一の歌人在原業平という二人が平安の世に起こる怪事件を次々と解決する歴史クワイム・サスペンスで、平成二十五年（二〇一三）から、新潮社『月刊コミックパンチ』にて幅広い年齢層に支持を受け好評連載中です。

今回の展覧会では、気鋭の灰原葉氏による原画や関連画、さらに灰原氏が太宰府に取材し、本展のために描き下ろした新作により、雅やかで幽玄な作品世界へと私たちを誘います。

また、同会期にて宝物殿第一、第二展示室では、太宰府天満宮に代々伝わる道真公ゆかりの品をはじめとする貴重な歴史的資料を一堂にご紹介します。

あらすじ

時

は平安、藤原家が宮廷の権力を掌握しようとする頃。都で突如起きた女官の連続失踪事件。鬼の仕業かと心配する帝の命を受けた在り業平は、事件を調べる中でひとりの少年と出逢う。彼の名は、菅原道真―のちに学問の神様と呼ばれる天才・道真と京随一の歌人・業平の、運命の出逢いであった。

都で噂の不思議な姫や呪われた写本、見たら死ぬと言われる百鬼夜行……ふたりは、様々な怪事件を解決しながら、京の都に棲まう「権力」という鬼と立ち向かってゆく。

平城帝の血を引き、歌の才で都中に名を馳せる歌人。検非違使を率いて都の安全を守る職に就く。無類の好きだが、過去に藤原家の姫・高子と因縁があった。

在り業平

京都を騒がせた「玉虫姫」事件で出会った女官。道真にその学才を買われ、菅原家に仕えることになる。

藤原高子

藤原北家の筆頭・藤原良房の姫。帝に嫁ぐため、良房によって屋敷に幽閉されている。

道真の級友であり、業平の親類でもある少年。気は弱いが好奇心が強くトラブルによく巻き込まれる。

紀長谷雄



昭姫

道真が事件の中で出会った市中の店の女主人。大陸からやってきた異国の女性のようなだが……

白梅



菅原道真

学者を多く輩出する菅家の子息。宮中で学問を研究する文章生に就いているが、もっぱら自宅の書庫に引きこもり唐からの書物を読みふけている。菅三と呼ばれる。



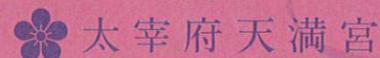
Author

灰原 葉 Yak Haibara

東京都生まれ。マンガ家。『回游の森』（太田出版）ほか、『SP 警視庁警備部警護課第四係』（小学館）などコミカライズ作品も多く手がける。

Exhibition

会 期 平成30年(2018)12月8日(土)～平成31年(2019)4月14日(日)
※12/24、1/7、1/14、2/11、2/25、3/25 除く、月曜休館
観覧料 一般400(300)円 高大生200(100)円 小中生100(50)円
※()内は30名以上の団体料金、障害者手帳提示により付添者1名まで半額料金
会 場 太宰府天満宮宝物殿 企画展示室
〒818-0117 福岡県太宰府市宰府4丁目7-1 お問い合わせ Tel 092-922-8225(代表:9時～17時)



www.dazaifutenmangu.or.jp/outennomonten

『応天の門』激動の最新第10巻は平成30年12月7日(金)発売。

応天の門

展



主役は、
天神さま。

太宰府天満宮

会場：太宰府天満宮宝物殿企画展示室

主催：太宰府天満宮 特別協力：新潮社、西日本鉄道
後援：九州国立博物館、太宰府市、太宰府市教育委員会、太宰府観光協会、天満宮参道会
会場構成：五十嵐瑠衣 アートディレクション：前田景

平成30年12月8日 土 — 平成31年4月14日 金

人気歴史コミック『応天の門』の世界へ

応

天

の門

展



もう講義が
始まるぞ

道真
どこへ行く？

主役は、
天神さま。

学びに

太宰府天満宮

会場：太宰府天満宮宝物殿企画展示室

主催：太宰府天満宮 特別協力：新潮社、西日本鉄道
後援：九州国立博物館、太宰府市、太宰府市教育委員会、太宰府観光協会、天満宮参道会
会場構成：五十嵐瑠衣 アートディレクション：前田景

平成30年12月8日 土 — 平成31年4月14日 金